

(公財)京都市体育協会	平成29年度経営計画 兼 経営努力結果
--------------------	--------------------------------

基本事項

所管局課	文化市民局市民スポーツ振興室	本市出えん金	30,000 千円
基本財産/資本金	118,000 千円	本市出えん率	25.4 %

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

方向性	自律化	目標年度	平成27年度
-----	-----	------	--------

「今後の方向性」に向けた基本的方針

業務面	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の質の向上 ・魅力あふれるスポーツの場づくり
財務面	<ul style="list-style-type: none"> ・財務基盤の強化
組織面	<ul style="list-style-type: none"> ・職員派遣の廃止 ・人材育成，資質向上による組織体制の強化
その他	特になし

当年度の取組目標に対する意見

所管局	<p>より一層効果的，効率的な管理運営に努めるとともに，職員の人材育成にも取り組み，できるだけ早期の自律化に向けて強固な組織基盤を築いてもらいたい。</p>
-----	--

当年度の取組に対する総括(※)

団体(※)	<p>第3期指定管理提案内容の進捗状況の確認を行うとともに，次期（4期）指定管理に向けた準備として他都市の施設へも視察を行い，更なる市民への事業及びサービスの資質向上に努めた。</p> <p>また，子どもから高齢者までの誰もが年齢や個性，環境に応じて楽しめる「するスポーツ」と，プロスポーツをはじめ，トップレベルのスポーツに身近に触れることができる「みるスポーツ」の推進に寄与する事業を実施し，より多くの市民がスポーツに参加できる機会の充実に努めた。</p>
所管局(※)	<p>早期の自律化を目指して，本市スポーツ施設における第3期指定管理者として，利用者満足度を高めるサービスの提供や施設利用率の向上を図る施設運営，安定した利用料金収入の確保に取り組まれている。</p> <p>また，市民スポーツ振興のための新規事業の推進や自主財源確保にも積極的に取り組まれている。</p>
外郭団体総合調整会議(※)	<p>全ての指定管理施設において利用料金制度が導入された平成27年度以降，順調に利用料金収入が増加し，計画を上回る収入を確保していることは評価できる。</p> <p>今後も各種イベントの実施や利用種目の拡大等により，一層の利用者の増加に取り組むことが重要である。</p>

(1)業務に関する取組

目標1 「事業の質の向上」

中期経営計画 における取組	スポーツ施設の管理運営、スポーツ教室・事業の実施などの既存事業の更なる充実を図るとともに、「京都」のブランド力をいかした「京都らしい」スポーツイベントの実施により、多くの市民の豊かなスポーツ参加機会に資するための事業展開を行う。
当年度目標	既存事業の内容にとらわれることなく、市民のニーズに合わせた事業展開を積極的に行っていく。 スポーツ施設の特徴を有効に活用し、地域の特徴を踏まえた企画を盛り込むことにより、スポーツへの参加意欲を高める事業を展開して行く。
当年度結果 (※)	多様化した市民のスポーツ活動に対する欲求にこたえるため、当年度も「みんなのスポーツフェスタ」、「スポーツ講座」などの市民参加型イベントを開催した。 当年度の「みんなのスポーツフェスタ」では約12,000名もの来場があり、イベントの周知度向上が伺えた。2020年東京オリンピック新規種目である、3×3大会やスケートボード体験コーナーも設け、障がいのある人もない人も楽しめるスポーツとしては「車いすバスケットボール体験会」を実施する等、多くの市民にスポーツと触れあう場を提供することができた。 「スポーツ講座」では、「スポーツ栄養講座」、「60歳からはじめるウォーキング講座」、「ランニング講座」、「からだやわらか体操講座」などのテーマを設けて、市民が気軽に学べる場を積極的に提供した。

指標	市民参加型イベント件数 (単位：件)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	5		5		5		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	4	5	5	5	4	5	—	5

目標2 「情報提供の機能強化」

中期経営計画 における取組	市民ニーズの把握と発信方法の充実のため、様々な観点から広くスポーツ情報の収集を行うとともに、情報発信力及び発信スキルの向上に努め、京都のスポーツ情報の発信拠点づくりを目指す。
当年度目標	昨年度に引き続き、コミュニティーボードにより情報を発信したい人と受信したい人を結ぶ場を設ける。 広報誌「きょうとSPORTS」では、2020年東京オリンピック・パラリンピックやワールドマスターズゲームズ2021関西に注目した内容を取り入れ、市民生活にスポーツがより浸透していくきっかけづくりができるよう魅力ある京都のスポーツ情報の発信を行う。 また、Facebookを通じて事業の広報や報告を行い、Facebook広告等も活用し、幅広い年代に対し周知を行い、いいね！数1,500を目指す。
当年度結果 (※)	広報誌「きょうとスポーツ」では、アスリート向けの情報だけでなく、2020年東京オリンピックの新規種目3×3や、ワールドマスターズゲームズの2017年オークランド大会から2021年関西大会へと繋ぐ内容等も取り入れ、市民のゴールデン・スポーツイヤーズへの関心向上を図った。Facebookにおいても、積極的な情報配信により「いいね！」数も増加しており、より多くの市民に向けて的確な情報の発信を行うことができた。

(公財)京都市体育協会	平成29年度経営計画 兼 経営努力結果
-------------	------------------------

指標①	広報誌「ダッシュ！」発行部数 (単位：部)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	120,000		120,000		120,000		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	109,416	120,000	112,524	120,000	118,608	120,000	—	109,284

指標②	Facebook いいね！数 (単位：件)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	—		—		—		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	—	1,000	1,022	1,200	1,367	1,500	—	1,480

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位：千円)
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考欄
	予算	実績	予算	実績(※)	予算	実績(※)	
経常収益	339,713	337,061	341,726	339,395	363,014	365,952	
経常費用	339,713	324,050	341,726	326,790	363,014	354,066	
当期経常増減額	0	13,011	0	12,605	0	11,886	
当期正味財産増減額	0	12,941	0	9,387	0	6,824	
資産合計	—	497,620	—	519,955	—	563,303	
負債合計	—	87,246	—	100,194	—	136,718	
正味財産	—	410,374	—	419,761	—	426,585	
うち累積損益額	—	292,374	—	301,761	—	308,585	

目標「利用料金収入の確保」	
中期経営計画における取組	平成27年度からすべての指定管理対象スポーツ施設において利用料金制度が導入されることになったことから、安定した利用料金収入の確保を目指す。
当年度目標	雨天練習場や遊休施設の活用など、既存施設の機能向上により、安定した収入の確保と増収を図る。 わかさスタジアム京都については、本体が雨天不使用や整備日の場合についても、管理運営に支障がなければ、引き続き雨天練習場の貸し出しを積極的に行う。
当年度結果(※)	安全対策や設備の改修等、利用者満足度を高めるサービスを提供するとともに、わかさスタジアム京都の雨天練習場の積極的貸し出しを行ったことなどにより、昨年度の利用料金を上回る結果となった。

指標	代表団体として指定管理を行う施設の利用料金収入の合計 (単位：千円)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	358,780		362,194		365,612		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	—	358,780	406,087	362,194	406,705	365,612	—	421,901

(3)組織に関する取組

目標1「職員派遣の廃止」

中期経営計画における取組	京都市からの派遣職員を廃止し、以後派遣職員に頼らない運営体制を維持する。
当年度目標	京都市からの派遣職員を平成30年度に廃止し、以後派遣職員に頼らない運営体制を維持するべく準備を進める。
当年度結果(※)	京都市からの派遣職員の廃止後、自律的経営を維持していくための組織的基盤の強化を図るため、施設の効率的な管理運営に努めたほか、専門知識習得のための研修会等、職員の人材育成に取り組んだ。

指標	京都市からの派遣職員数 (単位：人)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	1		0		0		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	1	1	1	1	1	1	—	1

目標2「組織体制の強化」

中期経営計画における取組	施設管理及び事業実施に必要なスキルを向上させ、利用者満足度や業務効率の改善を図るために、職員に対する外部研修及び伝達研修を定期的実施していく。
当年度目標	一般職員への登用に伴い、限定的な業務だけでなく、業務全般を把握できる職員を養成する。 そして、個々の役割に応じた専門的な外部研修や、スポーツ施設の指定管理者として利用者サービスの質を高めるための視察や研修を実施する。 また、自主財源の確保に努めるため、当協会の活動目的や制度の趣旨を周知し、当協会の活動に賛同していただける賛助会員の増加を図る。
当年度結果(※)	効果的な運営や組織体制の強化を目的に、一般職員の養成や、部署統括を補佐する役割を意識しスキルアップを図る統括研修を実施したほか、次期指定管理に向けた準備として、他都市の指定管理施設への視察・調査を実施した。 また、賛助会員制度については、当協会の活動目的や制度の趣旨を積極的に周知し、更なる会員数の増加を図った。

指標①	職員研修の実施回数 (単位：回)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	17		17		17		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	15	17	17	17	19	17	—	9

指標②	賛助会員数 (単位：人数)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	—		—		—		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	10人・3団体	—	11人・7団体	—	19人・16団体	20人・20団体	—	19人・17団体